



しあわせ信州

長野県(北信地域振興局)プレスリリース 令和6年(2024年)1月11日

秘境「秋山郷」に関するセミナーを銀座 NAGANO で開催します

社会のグローバル化とサプライチェーン（供給連鎖）の進展で、我々は世界中から様々な物を享受できるようになりました。その一方で、新たな感染症の蔓延や紛争の発生などにより、そのシステムは脆弱で不安定であることもわかってきました。

そこで、自然と向き合って暮らす「秋山郷」の、サスティナブル（持続可能）な「山の暮らし」にフォーカスし、地元食材を使った料理をいただきながら講演を聞くセミナーを開催します。

タイトル 秋山郷のサスティナブルな山の暮らしにフォーカス！

～マタギ、木鉢職人、山菜、キノコ、保存食など～

日時 令和6年 2月3日(土) 12:30～15:00 (開場 12:00)

場所 銀座 NAGANO (東京都中央区銀座5丁目6-5)

参加費 3,000円 料理、ドリンク付き

定員 24名 (先着申込順)

申込み 銀座 NAGANO ホームページ →



<https://www.ginza-nagano.jp/event/67208.html>

※申込締切令和6年1月31日(水)

講師

白水 智 氏

(中央学院大学 教授・生涯学習センター長)

井上 卓哉 氏

(静岡県富士山世界遺産センター学芸課准教授)

福原 和人 氏

(小赤沢民宿出口屋・マタギ)

福原 とも子 氏

(栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員)

※詳細は別添チラシをご覧ください



ガチなが

長野県直営 共創型ふるさと納税受付サイト

ガチ(本気)でより良い長野県を皆さまと共に創るサイト



(問合せ先)

北信地域振興局商工観光課 児玉、中原

電話 0269-23-0219 (直通)

0269-22-3111 (代表) 内線 252

F A X 0269-23-0256

E-mail hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp

秋山郷のサステイナブルな山の暮らしにフォーカス！

～マタギ、木鉢職人、山菜、キノコ、保存食など～

地元食材を使った料理をいただき、マタギ、地元民、研究者が語る、豊かな山の暮らしとは。

日時

2024. **2.3** SAT

12:30～15:00 (開場12:00)

場所

銀座NAGANO

東京都中央区銀座5丁目6-5

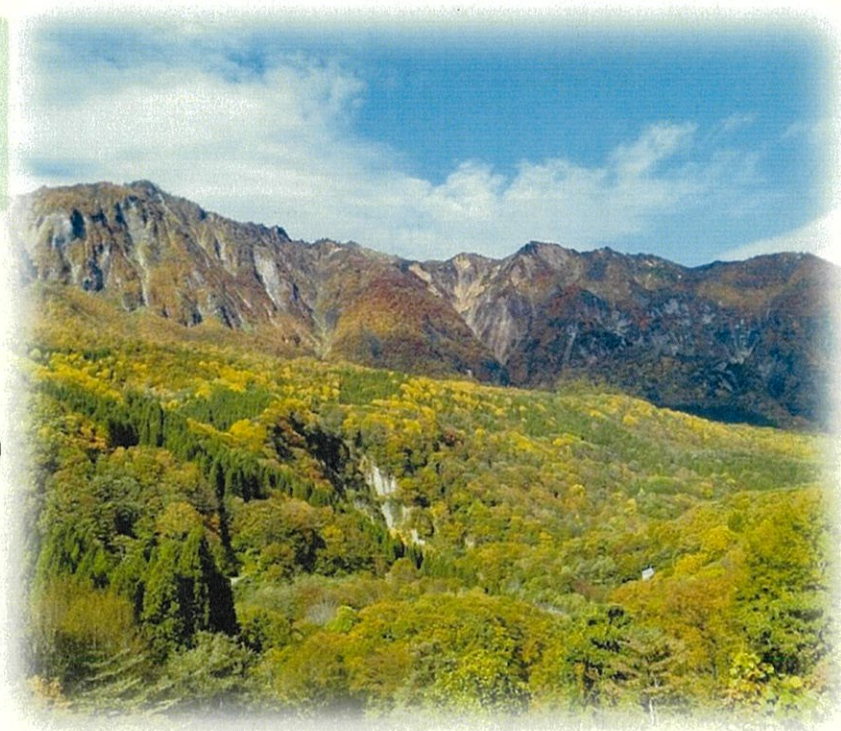
参加費

3,000円

料理、ドリンク付き

定員

24名 (先着申込順)



鳥甲山 (とりかぶとやま)

セミナー

社会のグローバル化とサプライチェーンの進展で、我々は世界中から様々な物を享受できるようになりました。その一方で、新型コロナウイルス感染症の蔓延や紛争の発生などにより、そのシステムは脆弱で不安定であることもわかってきました。

そこで、自然と向き合って暮らす「秋山郷」の、サステイナブルな「山の暮らし」にフォーカスしたセミナーを、地元食材を使った料理をいただきながら開催します。

◆秘境「秋山郷」の紹介

◆講師自己紹介

◆クロストーク「豊かな山の暮らしとは」

講師 白水 智 氏 (中央学院大学 教授・生涯学習センター長)
井上 卓哉 氏 (静岡県富士山世界遺産センター学芸課 准教授)
福原 和人 氏 (小赤沢民宿出口屋・マタギ)
福原 とも子 氏 (栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員)

申し込み **銀座NAGANO** ホームページ ※申込締切 1月31日 (水)

問い合わせ

栄村役場商工観光課

TEL 0269-87-2702



「秋山郷」とは・・・

長野県栄村と新潟県津南町を流れる中津川溪谷に点在する集落で、日本の秘境100選に選ばれています。ここは、日本有数の豪雪地帯であるとともに、近くには、日本百名山のひとつ「苗場山」がそびえ、頂上付近は、広大な高層湿原と約3,000箇所におよぶ池塘（ちとう）が点在する高山植物の宝庫となっています。

また、マタギと呼ばれる狩猟民たちが、昔からの儀礼や作法を守り、集団で熊猟などを行いながら、山への信仰を強く持ち、自然とともに暮らしてきた地域です。



わらび



栃の実



ふきのとう

講師紹介

しろうず さとし
白水 智 氏

中央学院大学
教授・生涯学習センター長

神奈川県生まれ。これまで日本史の中では後進的な生活を営む地域と考えられ、注目されてこなかった山村地域の生活文化や支配のあり方に興味をもち、研究している。秋山郷には25年ほど調査に通い、江戸時代の古文書を中心に山村の実態を調べ、その知恵や技術の高さ、そして山の豊かさに大きな刺激を受けてきた。著作に『知られざる日本—山村の語る歴史世界—』『古文書はいかに歴史を描くのか—フィールドワークがつなぐ過去と未来—』（ともにNHKブックス）、『山村は災害をどう乗り越えてきたか』（小ざ子社）など。



いのうえ たくや
井上 卓哉 氏

静岡県富士山世界遺産センター
学芸課 准教授

兵庫県生まれ。富士山かぐや姫ミュージアム（富士市）学芸員、富士市文化振興課を経て、令和4年から現職。専攻は文化人類学・民俗学。研究テーマは山村の生業からみる山地資源の利用で、平成9年から秋山郷に足繁く通い、山菜・キノコ採集や木鉢製作などの技術について教えるを乞う。静岡県富士山世界遺産センターでは、富士山周辺の生業や、日本の象徴としての富士山の姿などを研究テーマとする。著作に『信州秋山郷 木鉢の民俗』（川辺書林）、『ステレオ写真で眺める明治日本』（古今書院）、訳書に『富士山信仰と表象の文化史』（パイロン・エアハート著"Mount Fuji: Icon of Japan"、慶應義塾大学出版会）など。



ふくはら かずひと
福原 和人 氏

小赤沢民宿出口屋
マタギ

長野県栄村秋山郷生まれ秋山郷育ち、六代目の現役マタギ。ご先祖は、マタギの本場である秋田の阿仁出身。秋山郷にやって来て、そのまま住み着いたとのこと。「獲物は山の神様からの授かりもの」という感謝の気持ちを大切に、掟を守りながら狩猟に出かけている。また、日本百名山である苗場山の登山ガイドのほか、かつては村の村議会議員の議長を務めるなど、地域の振興活動に積極的に取り組まれている。経営している民宿「出口屋」のキャッチフレーズは、「クマの話とおいしい水」。「出口屋」の名の由来は、敷地内に大きな泉（水の出口）があるから。



ふくはら ともこ
福原 とも子 氏

栄村役場
秋山郷総合センター「とねんぼ」職員

長野県栄村秋山郷生まれ秋山郷育ち。聴覚障害の母を持つこともあり、お婆ちゃん子にて方言が強い。幼い頃から年齢問わず秋山の方々と接し、色々と教えるを請い見聞きしてきたことから、「地元にて自分でも役に立てることを。」と思い結婚後3人の子育てをしながら、「げたばきヘルパー」と掛け持ちで、観光案内所に勤務し、その後秋山郷観光協会事務員を経て、現職。研究者をはじめ、秋山と関係を持つ人にとって頼れる存在となっている。



鳥甲山（とりかぶとやま）の展望台

新型コロナウイルス感染症等の状況によっては、開催内容の変更や中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。